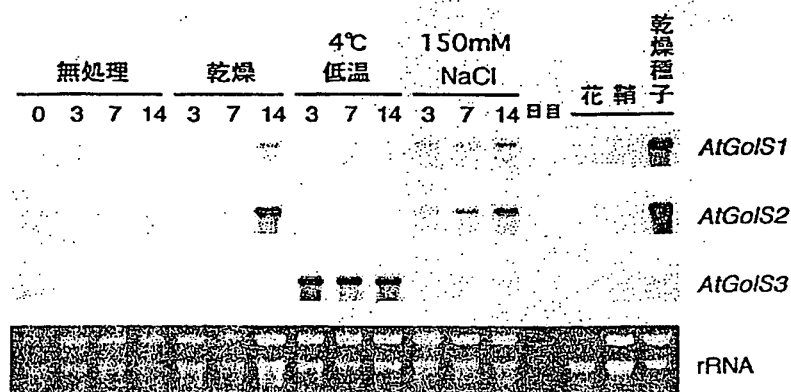


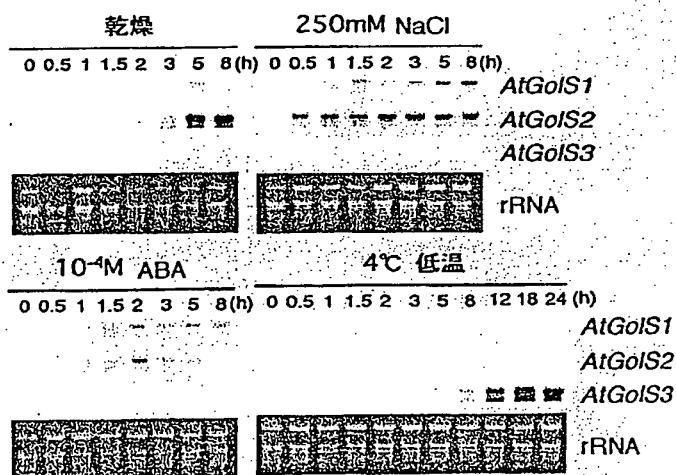
【図 1】

各種ストレス下（土植え）および組織別での*AtGolS*遺伝子の発現解析



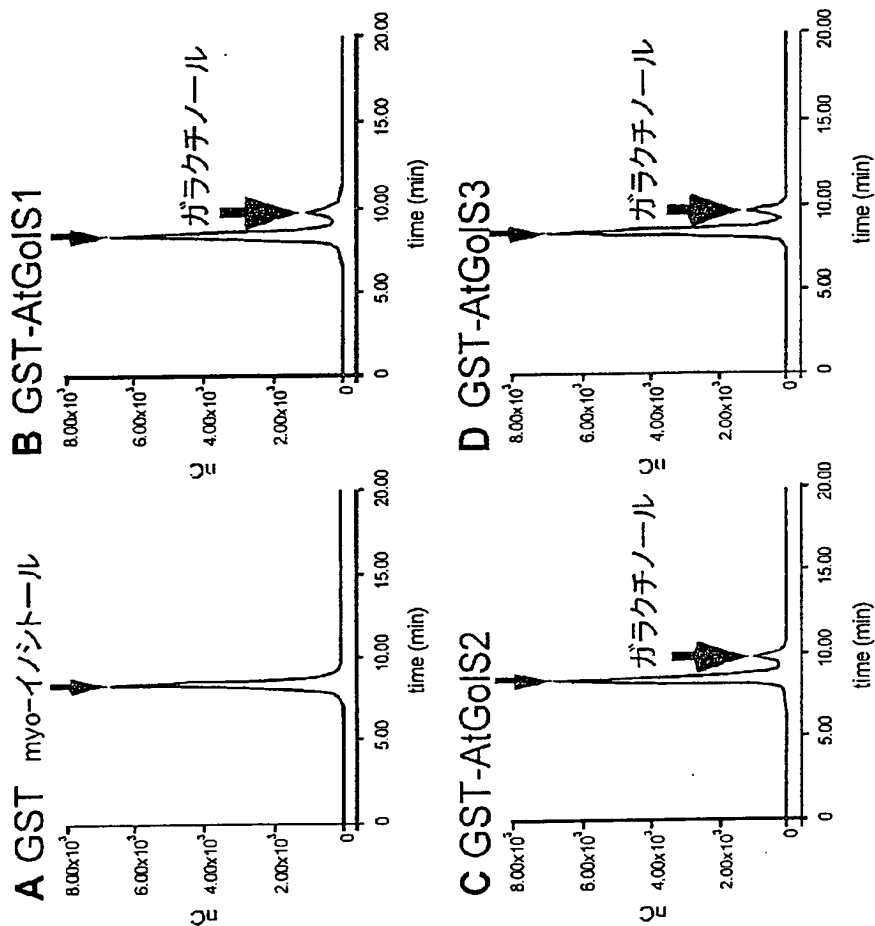
【図 2】

各種ストレス下（プレート）における*AtGolS*遺伝子の発現解析



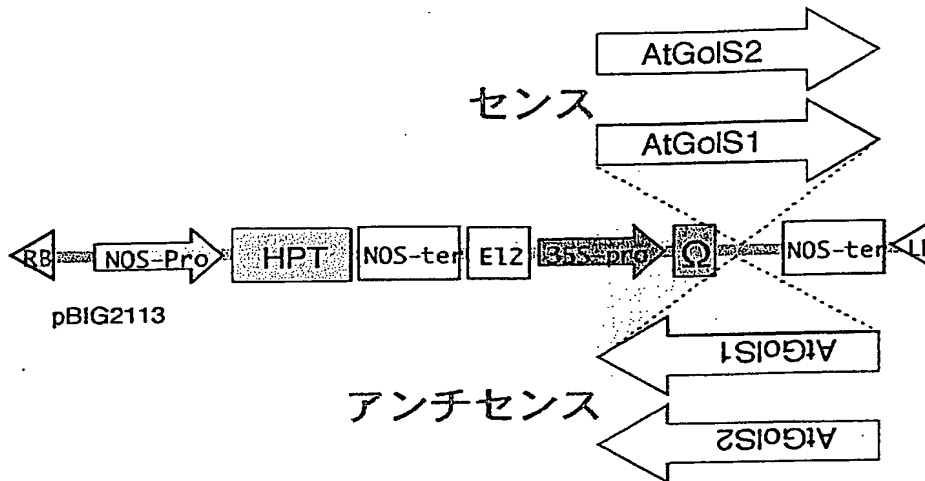
【図 3】

GST-AtGolSタンパク質の酵素活性



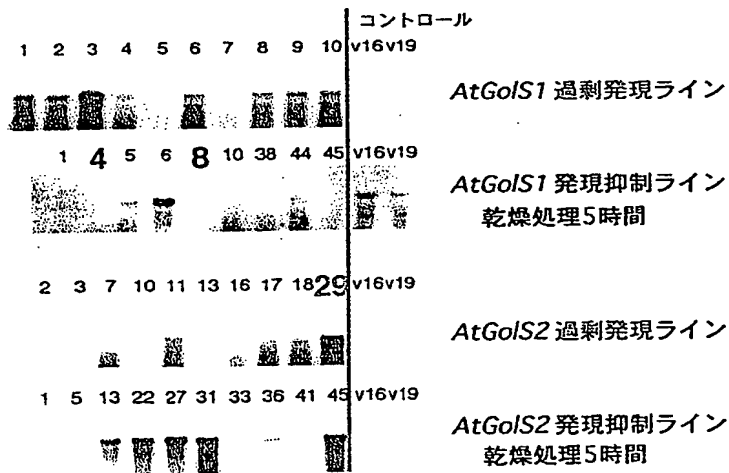
【図4】

# 形質転換植物作成用コンストラクト



【図5】

## トランスジェニック植物における導入遺伝子の発現量

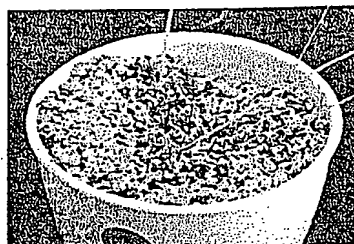
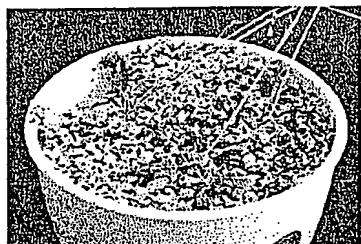


【図6】

乾燥処理16日目

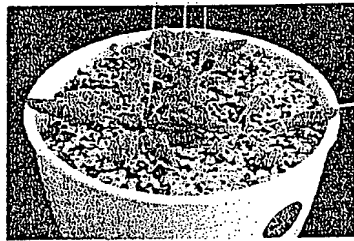
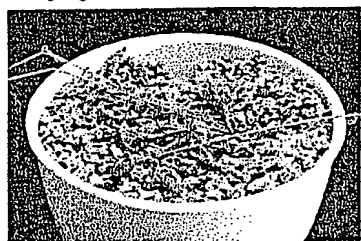
*AtGolS1* 発現抑制ライン4

*AtGolS1* 発現抑制ライン8



ベクターコントロール

*AtGolS2* 過剰発現ライン29



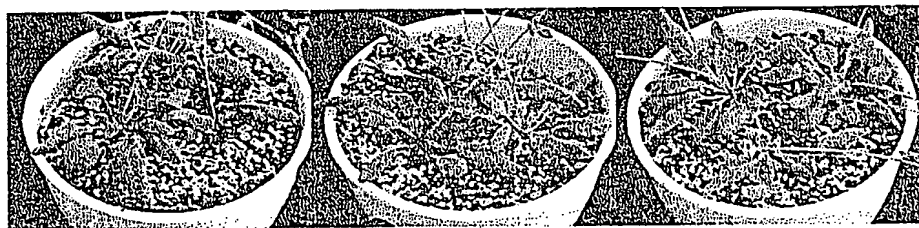
【図7】

乾燥処理17日後，再吸水

ベクターコントロール

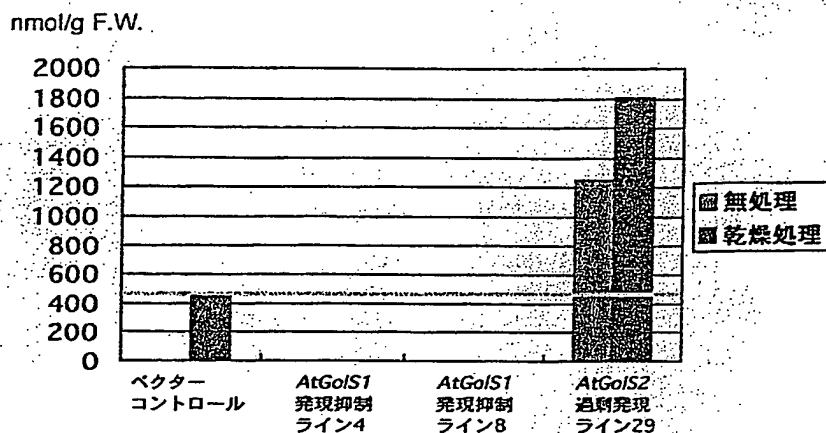


*AtGolS2* 過剰発現ライン29



【図8】

# トランスジェニック植物のgalactinol含量



【図9】

# 乾燥処理14日目における土植えポットの水分含有率

